

会議の名称	第11回 東村山駅周辺まちづくり協議会				
開催日時	平成 22 年 5 月 25 日 (火) 17:30～19:00				
開催場所	北庁舎2階 第4会議室				
出席者	出席者： (委員) 野口町1丁目自治会・野口町2丁目自治会・野口町4丁目自治会 仲好会自治会・美友自治会・諏訪町自治会・本町2丁目自治会 東村山市商工会・東村山駅西口共栄会 東村山駅周辺まちづくり研究会・東村山青年会議所 社会福祉協議会 18人 (UD) アーバンデザイン東村山会議 浅野氏・中谷氏・棚田氏・益田氏 増田氏・三上氏・小町氏 (事務局) 渡部市長・須崎まちづくり担当部長 まちづくり推進課：山下課長・谷主査・川崎主任・若林主事 産業振興課：竹部係長 (コンサル) 日本交通計画協会 幡歩氏・曾根氏				
傍聴の可否	傍聴可	傍聴不可の 場合はその 理由		傍聴者数	2 人
会議次第	1. 開会 2. 議事 1)経過報告 2)ワークショップ ・周辺道路の機能、位置付けについて ・発表 3. 閉会				
問合せ先	都市環境部まちづくり推進課 担当者名 谷・川崎・若林 電話：042(393)5111 FAX:042(397)9438				
会 議 経 過					
■配布資料： 東村山駅周辺まちづくりニュース第10号					

1. 開会

- ・まちづくり推進課長よりあいさつ
- ・本日の会議内容・進行について説明を行った。

1) 事務局・UD・コンサルの紹介

2) H22新規協議会メンバーの紹介

出席：東村山青年会議所理事 ・ 仲好会自治会長 ・ 諏訪町自治会副会長

欠席：葉月会会長 ・ 久米川4丁目自治会長

2. 議事

(座長)

- ・本日の協議会に傍聴希望者はいますか？

(事務局)

- ・本日は傍聴希望者が2名お見えになっております。

(座長)

- ・事務局からの報告で、本日の傍聴希望者は2名お見えになっております。これを許可したいと思います。では、傍聴者の着席まで休憩します。

— (休憩) —

(座長)

- ・傍聴される方は、「東村山駅周辺まちづくり傍聴に関する定め」に従って傍聴をお願いいたします。

1) 経過報告

(事務局)

- ・東村山駅周辺まちづくりにおけるこれまでの経過をスライドを使って説明した。

①平成21年3月 東村山駅周辺まちづくり協議会設置

②課題の抽出(ワークショップ)

- ・現状のまちの課題を抽出。まち歩き — 練馬駅・桜台駅視察。

③課題の整理(ワークショップ)

- ・協議会での意見、アンケート、市民対象のワークショップでの意見を整理し、課題を4つに分類、課題図を作成した。

④まちづくりの方向性

- ・課題を踏まえ、まちづくり構想図(案)作成。

⑤中間のまとめ

- ・ここまでの成果をまとめ、市民説明会を7月に開催した。

⑥最終のまとめ

- ・中間のまとめ説明会以降、協議会での検討の他、アンケート、市民対象のワークショップ、意見募集を実施し、様々な意見を踏まえて最終のまとめを作成した。

⑦平成21年10月 市長へ提言

- ・10月29日 最終のまとめを市長に対して提言。
- ・ここまでが協議会の皆さんと一緒に活動してきた内容である。

それ以降市では、

⑧平成21年11月 基本構想（案）公表

- ・協議会からいただいた最後のまとめを基に基本構想（案）を作成し、意見募集を実施した。

⑨平成21年12月 都市計画審議会【諮問】

⑩平成22年1月 都市計画審議会【答申】

⑪平成22年2月 基本構想完成

- ・現在、市では、基本構想実現に向けた検討を開始しているところである。
東京都が検討を進めている鉄道連続立体交差化と合わせたまちづくりを考えていくことが、基本構想実現に向けた取組みの第一歩であると考えている。具体的には、道路の整備計画案を検討しているところである。

●市内北西部観光サイン看板設置について

（事務局 産業振興課）

- ・観光のまちづくりを進めていく中で、市内北西部に案内看板を増やしていこうという計画が持ち上がり、観光サインの会を立ち上げ（協議会のメンバーからも有志で参加をいただいた）、8回程検討や実踏を行い、またコスト面などの関係から、看板設置を民地に行う際も交渉等ご協力をいただきまして、おかげさまで4月に12箇所（矢印サイン9箇所、総合案内サイン3箇所）看板を設置することが出来ました。

※渡部市長到着、挨拶。

2) ワークショップ

①事務局よりワークショップについて説明を行った。

- ・テーマ：駅周辺道路の機能・位置付けについて意見交換を行う。
- ・道路整備計画案を作成するにあたり、生活や仕事などで実際に使用している道路について、市民の皆さんから意見を頂戴しながら実態を把握し、今後の検討に反映する。

②意見交換

- ・東村山駅を中心に、東口と西口にグループ分けの上、ワークショップを実施。

③発表

（東口グループ）

- ・ 抜け道、東西道路について意見交換がなされた。
- ・ 抜け道に保育園があるところには歩道を設置した方がよい。
- ・ よく使われる抜け道では、車がスピードを出す可能性があるので、歩道を整備するなど安全対策を講じていく必要がある。
- ・ 市民は府中街道を通らない。
- ・ 白山通りについて、この地域は住宅地の敷地面積が狭く、線路との間が狭い。鉄道交差化により住宅地が侵されていく懸念がある。抜け道として所沢方面へ抜けて行く車も多いので、検討していく必要がある。
- ・ 計画道路は、優先順位を付けて進めていく必要がある。
- ・ 駅周辺には狭隘道路が多くあり、何でも4mに広げようとするのではなく、一方通行や歩行者専用道路にするなど、上手く区分けして使い勝手をよくしてあげるといい。
- ・ 歩行者目線での話はなかなか出てこなかったが、狭い道に関しては、なるべく車が通らない道路整備をすることも必要である。

(西口グループ)

- ・ 現状の駅周辺の道路は、駅に用がない車でも駅周辺に集まるネットワークのため、渋滞の原因となっており、駅を周回する道路を整備し、駅に用がない車はその周回道路を利用することで渋滞緩和、良好な道路ネットワークが図られるのではないかな。
- ・ 前川に沿って、高齢者も安心して歩ける散歩道の整備をしていただきたい。
- ・ 調整池のような水を調整する公園を西口方面に設けたい。
- ・ 鉄道が高架になった場合、市として使える面積(15%)をどのように使うのか、譲らないものを描いておく必要がある。
- ・ 面積割合15%の土地が市にとって必要な機能であるということをしっかり押さえて、行政・議会・市民一体となって西武に対応するよう計画を作っておく必要がある。
- ・ 人にやさしいまちづくり環境や人が集まるコミュニケーションの場(公園など)を作りたい。また、飲み屋など人の潤う場を創出したい。
- ・ 暗くて不便というイメージの美住町の鉄道沿いも連立事業により解消され、明るい街並みが確保されると思う。
- ・ 都市計画道路を計画的に整備していただきたい。東村山駅西口りそな銀行南側の一方通行道路では、事故も起き危険が伴うので、併せて道路整備をする必要がある。

3. 閉会

以 上